

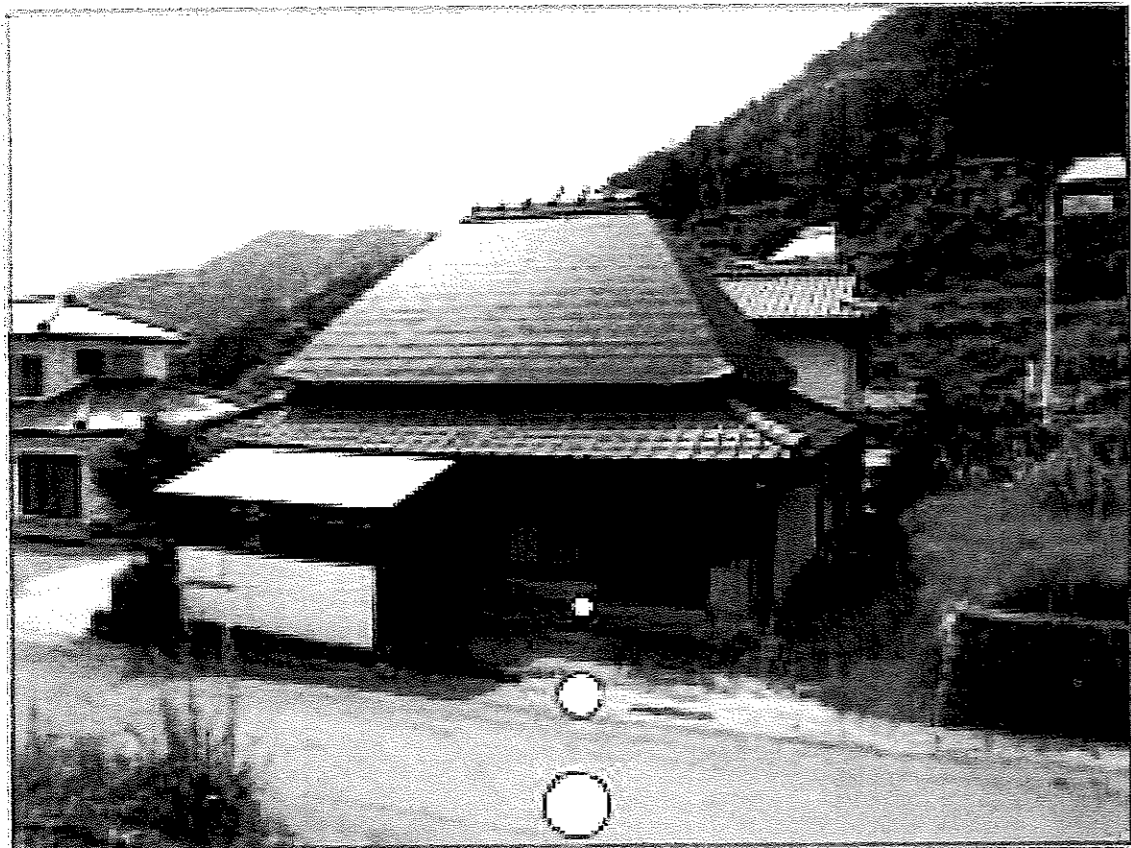
◎この通告書は、定例会開会第1日目の散会時刻までに提出してください。

<p>発 言 通 告 書</p> <p>下記の通り、発言したいから通告します。</p> <p>令和 8 年 6 月 2 日</p> <p>土佐町議会議長 和田 義嗣 様</p> <p>(議席番号) 6 番 (氏名) 和田 義二 (印)</p>		<p>令和 年 月 日</p> <p>午前 時 分 受付</p> <p>午後 時 分 受付</p>
		<p>(受付印)</p> <p>受付</p> <p>第 号</p> <p>8.6-2</p> <p>土佐郡 土佐町 議</p>
		<p>発言順位No. /</p>
番号	発 言 の 要 旨	答 弁 者
質問事項 (内容)	<p>1 アウトドアスポーツ施設への「雷探知機」の整備で利用者の安全確保を。</p> <p>人間の英知によっては制御できない地球上の自然現象である雷は、しばしば不慮の人命にもかかわる災禍となることもある。</p> <p>雷の本体(メカニズム)は、巨大な「静電気」の放電であり雷雲の中で、氷の粒がぶつかりあって静電気がたまり発生する。雲の下側にたまったマイナスの電気が地表のプラスの電気(お迎え放電)と引き合い、空気の壁を突き破り溜まった静電気が限界を超え落雷となる。夏場の午後の熱雷と冬に多い雪雷が多い。球場やサッカー場、登山中やゴルフ、イベント会場等、場所と時間帯を選ばない。</p> <p>県内関係者の惨事として記憶に残るのは土佐高校の学生が、1996年(平成8年)大阪高槻市でのサッカー試合中に落雷にあい大惨事となり命はとりとめたが意識のないまま長い闘病の末意識が戻るも視力を失い自力で行動できない身体的後遺症を負った。最高裁までの争点は主催者側の「落雷への予知・予見性の可否」を問うものであった。</p>	町長
プロジェクト (有・無)	<p>このような不慮の事故を回避するため、公共施設やイベント会場においては雷雲の発生や接近を、いち早く察知し関係者の安全を守ることが重要だ。科学的に対処するため今や「雷探知機」は必置の備品である。</p> <p>【探知機】 ・・携帯型・電磁波感知型 ~ 雷が発生させる特有の電磁波(ノイズ)をキャッチ。小型で持ち運びが容易。数KM~40KM感知。音やランプで警告する。家庭用・レジャー向き。5千円~1,5万円(コストパフォーマンスあり)</p> <p>・業務用、高精度携帯型は、スポーツ大会、工事現場、学校の部活等。3万~10万。</p> <p>・常設置型~ 静電界感知型で大気中の静電気の変化をそくてい。精度が高い、30万~150万円。</p> <p>【探知機の整備箇所】</p> <p>①夏休み開放されているプール。</p> <p>②湖のえきカヌーテラス。</p> <p>③①以外の納涼祭開催場所。</p>	
<p>プロジェクター及びスクリーンの使用(動画等に限る)についてどちらか一方に○を入れてください(有・無)</p>		
質問事項 (内容)	<p>2 中東情勢の、みつば保育園新築工事への影響は。</p> <p>2月末にアメリカとイスラエルによるイラン戦争が勃発し今では中東全域に拡大し和平への見通しは見えない。事実上のホルムズ海峡の封鎖が続いている。中東情勢の悪化は特定の地域を選ばず全世界的規模で経済・産業に混乱をもたらし、異常な物価高をもたらし国民生活を直撃している。そうした中、原油の5割以上を中東に依存する日本は石油由来のナフサを原料とする建築資材が不足し資材価格も高騰している。ナフサ由来の断熱材・ビニールクロス・水道用パイプ・シーリング材・接着剤等(品薄)となっている。</p> <p>さて、建築業界を取りまく、このような客観情勢のなか、みつば保育園新築工事は来年2月末完工めざし急ピッチで進められており現在は基礎工事は終わり床下の各種配管工事が行われており本体の上棟はこれからである。当初計画からは完工が半年近く遅れており改めて工事請負金額(資材高騰による)及び期限内完工を危惧するが、見通しはどうか問う。</p>	町長
<p>プロジェクター及びスクリーンの使用(動画等に限る)についてどちらか一方に○を入れてください(有・無)</p>		

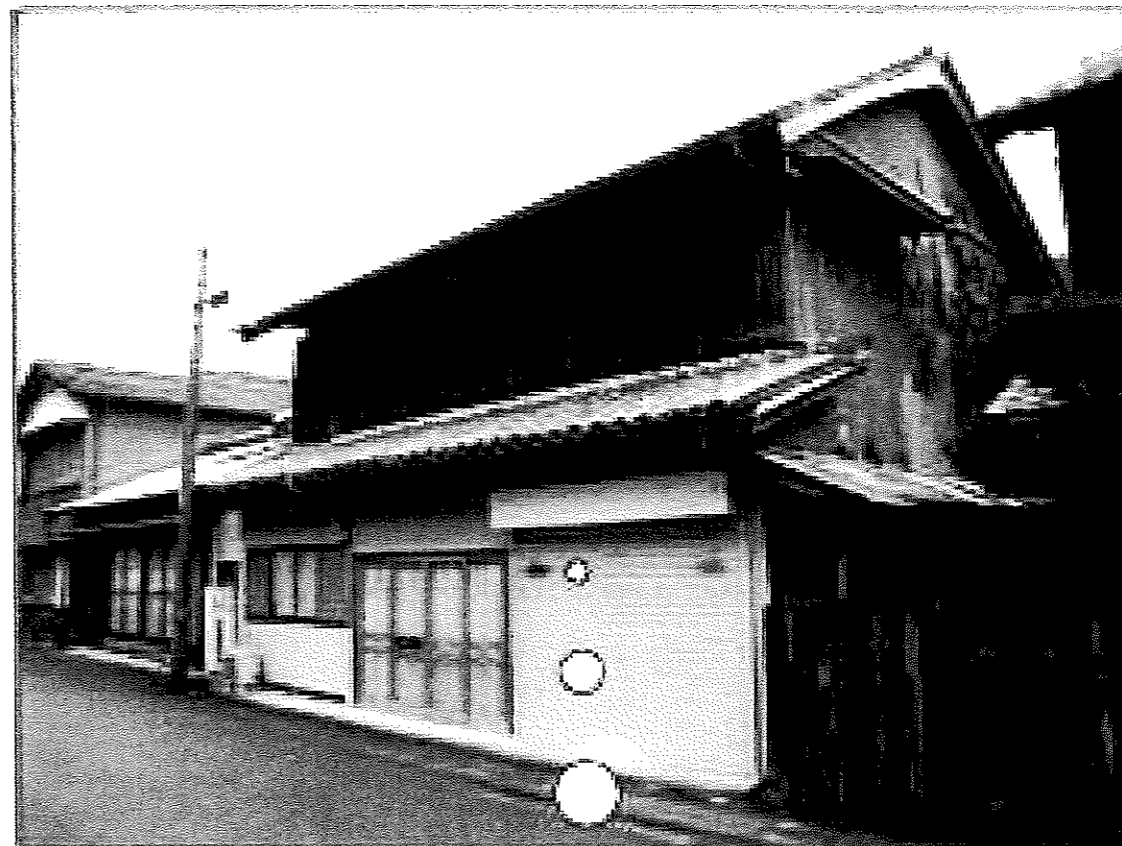
1 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

発言通告書		令和 年 月 日 午前 時 分 受付 午後 時 分 受付
下記の通りの発言を希望するため、ここに通告します。 令和8年 6月 2日 土佐町議会議長 和田 義嗣 様 (議席番号) 3番 (氏名) 鈴木大裕 印		(受付)付 第 号 8.6.-2 土佐郡 土佐町 議 発言順位No. 2
番号	発言の要旨	答弁者
1	質問事項 ふるさと教育、遊び場づくり、 教員の働き方改革をどう考えるか ① 集落活動センター等と連携し、旧小学校を活用したふるさと教育を ② 子どもの遊び場づくり、子育て環境の充実、そして子育て世代の 移住促進の観点から、子どもの遊び場づくりが必要と思われるが、教育長の所見を ③ 令和8年第一回土佐町議会定例会での一般質問に対して、町長は、土佐町の教育環境の良さを外に向けて発信していきたい、という旨の答弁をしたが教育長の所見を ④ 令和7年第3回土佐町議会定例会での一般質問に対して、前教育長は、生徒指導などは不可欠な業務、授業準備も教員の本分、部活動も職務であり、これらの業務は教員が勤務時間外に「自主的・自発的」に行っている仕事ではなく、れっきとした労働と認識している、という旨の答弁をしたが、教育長の認識は 【プロジェクター及びスクリーンの使用（無）】	教育長
2	質問事項 早明浦ダム再生事業終了を見据えて ① ダム再生事業従事者の駒野宿舎とその跡地の利活用の可能性は ② 旧「有機の学校」宿舎の利活用の可能性は 【プロジェクター及びスクリーンの使用（無）】	町長
3	質問事項 役場周辺の活性化に向けた施策の検討を かつて様々な店で賑わっていた役場周辺だが、「ワークインレジデンス」を利用した手に職を持つ移住者の呼び込みなど、活性化に向けた施策の検討を 【プロジェクター及びスクリーンの使用（有）】	町長

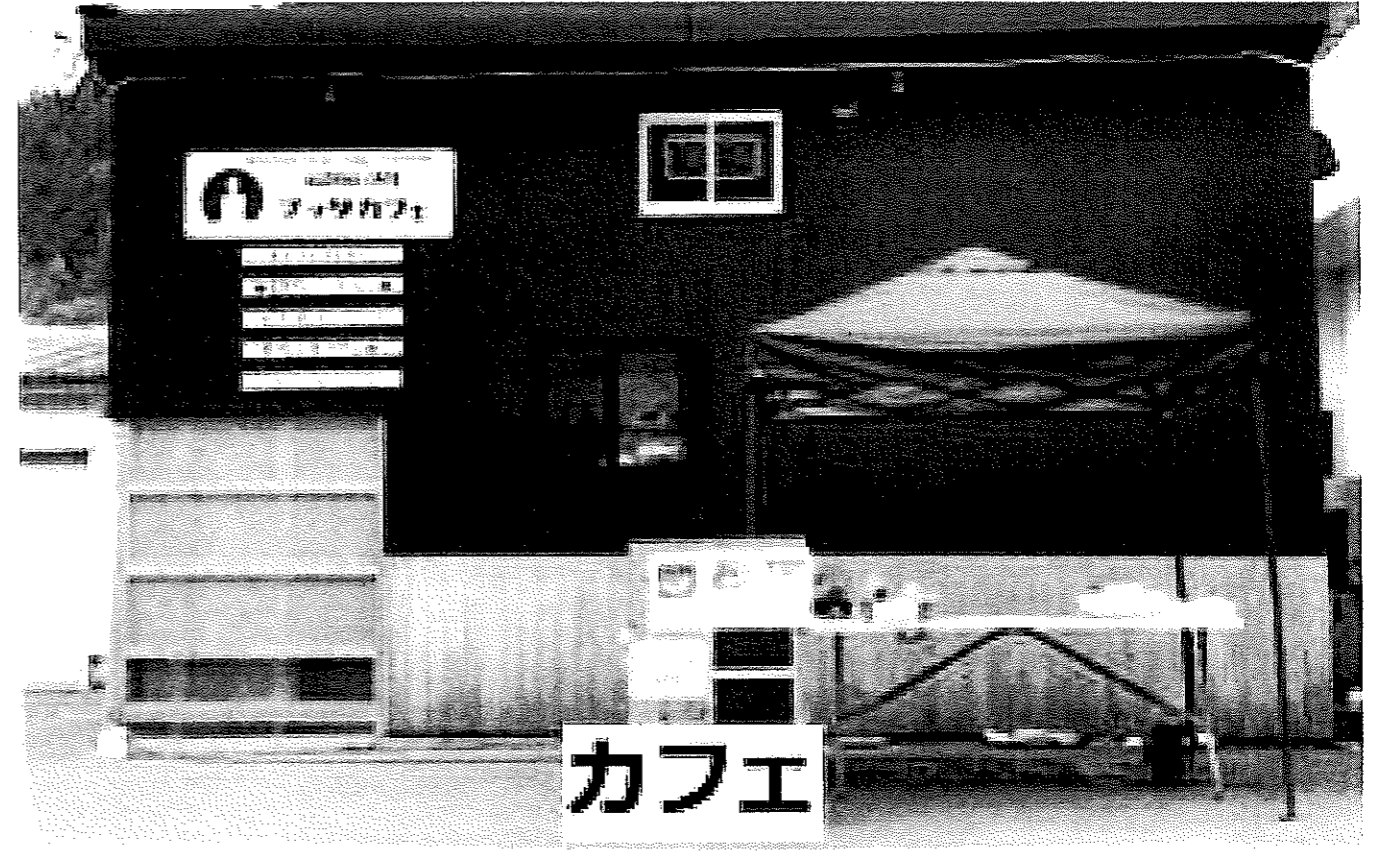


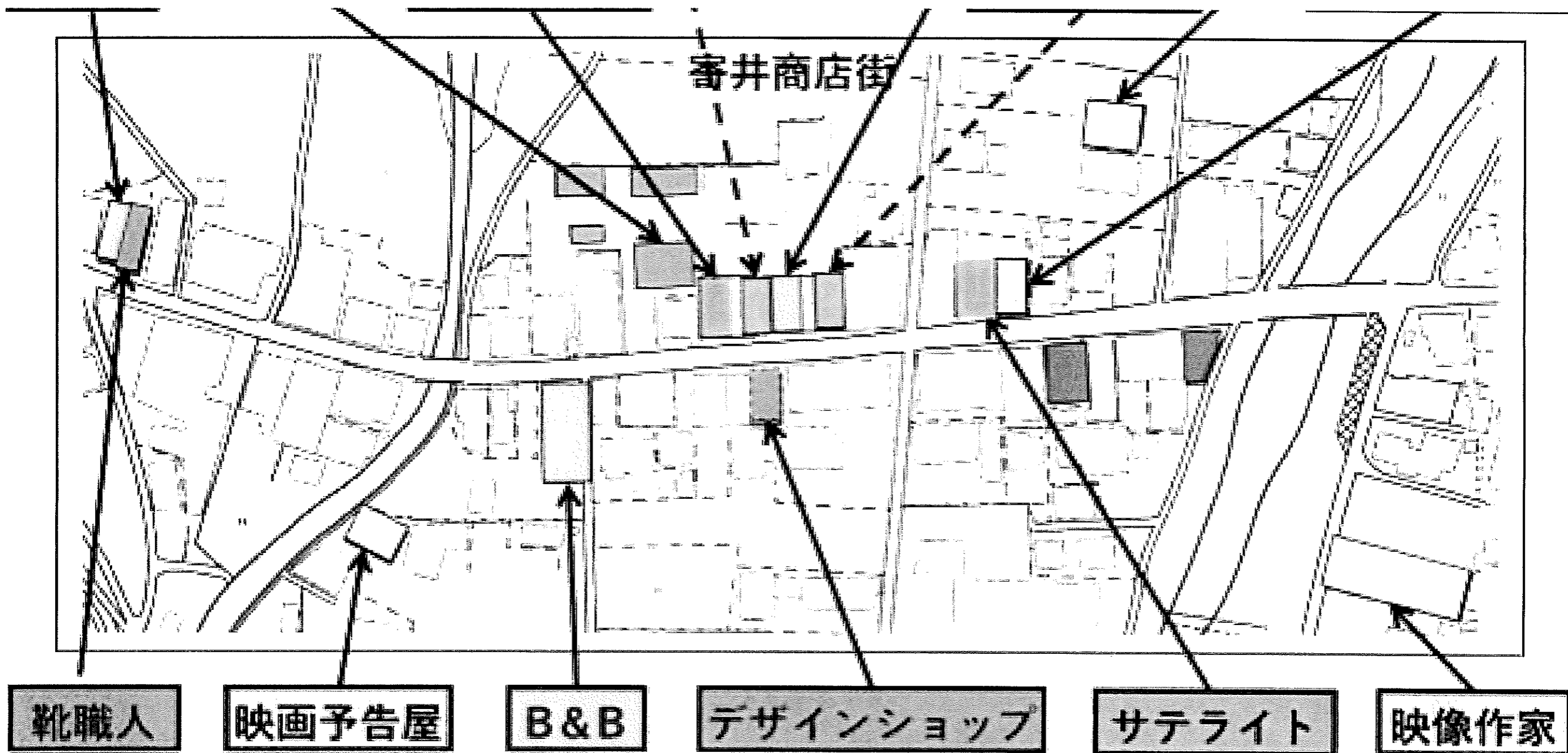
パン屋さん
開業しませんか？



デザイナーさん
いらっしやい！

事前に職種を特定することにより、町のデザインが可能に！





オフィス・レストラン・商店・職人・クリエイター等の集積

⇒ 「新たな人の流れ」・「地域内経済循環」の創出

第一日目の散会時刻までに提出してください。

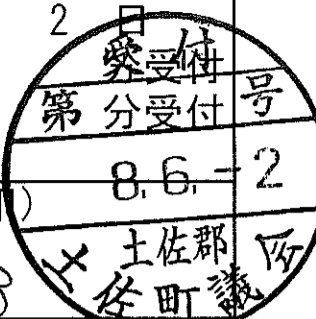
発言通告書

下記のとおり、発言したいから通告します。

令和 8 年 6 月 2 日
土佐町議会議長 和田 義嗣様

(議席番号) 9番 長 野 保

令和 8 年 6 月 2 日
午前 時
午後 時



(受付印)

発言順位 NO. 3


番号	発言の要旨	答弁者
1	<p>質問事項 各種補助金執行体制について</p> <p>(内容)</p> <p>① 人件費を補助対象に</p> <p>1 町の手厚い補助体制は、広く住民生活を支え感謝に堪えない。厚かましく思われるかもしれないが住民からの要望として、次の点が挙げられている。一例として集落整備事業をあげると、道路舗装に原材料を補助しているが、補助金を受ける側として、高齢化のため実施体制が組めずせつかくの補助を受けても執行できない。といった現実的な問題もある。これは高齢化、人口減少、人材不足の人口問題三原則が影響している。これに限らず人件費を補助対象とするよう各種補助金を見直して欲しい。</p> <p>② 農業機械補助金について</p> <p>①と同様で他町村にもない画期的な施策であると認識している。水田耕作の際の、トラクター、田植え機、コンバインは欠かせない機械である。これ等の機械は大変高額であり、中小零細農家は新たに機械購入は難しく使用不可能になると、耕作放棄をせざるを得ない。現行制度は大変重要な施策であるが、近年修理は高騰の一手にあり、農家にとっては大変な負担である。現行の補助金の見直しと、3点セットは同時に対象となるよう見直しはできないか。</p>	町 長
2	<p>質問事項 さめうら温泉（仮称）調査費関連</p> <p>調査費を予算計上する場合、施工主体に求める最低負担額は、その他関連事項について</p>	
<p>プロジェクターの使用</p>		無
<p>1 質問の要旨は具体的に記載すること。</p> <p>2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査員とすること。</p>		

◎この通告書は、定例会開会第1日目の散会時刻までに提出してください。

発 言 通 告 書 下記の通り、発言したいから通告します。 令和 8年 6月2日 土佐町議会議長 和田 義嗣 様 (議席番号) 5 番 (氏名) 氏次真貴夫		令和 年 月 日 午前 時 分 受付 午後 時 分 受付 (受付印) 受付 第 号 8.6-2 土佐郡 土佐町 議 発言順位No. 4
番号	発 言 の 要 旨	答 弁 者
質問事項	山間集落における湧水時の生活用水確保と住民支援は	町 長
	(内容) ① 町内の山間部における自主水源(山水)を利用している世帯において、近年の冬場における湧水状況をどのように把握されていますか。また、高齢化により、施設の維持管理が困難になってきている現状をどのように認識されていますか。 ② 集落独自の貯水タンクの大型化や、山水の取水口の整備など、その経費に対し、町独自の補助金の新設や拡充の考えは。	
質問事項	土佐町林地残材活用推進事業補助金(一般材チップ)の継続を	町 長
	(内容) ① 一般材チップの支援額をトン/3000円から2000円に引き下げた具体的な積算根拠と理由は何か。 ② 燃料費や機械維持費が高騰している中、このタイミングでの支援減額が個人事業主や事業者経営に与える影響をどのように考えますか。 ③ 林業支援の減額は、結果として町内商店の売り上げ減少に繋がるのではないか。	
質問事項	森林環境譲与税の使途と今後の展望は	町 長
	(内容) ① 森林環境譲与税について、直近三年間における具体的な事業別(意向調査、直接森林整備、担い手育成、木材利用促進など)の執行実績とその評価は。 ② 基金として積み立てられている現在の残高は、またその基金の活用計画は。 ③ 自伐型林業担い手育成支援事業が削減された理由は。	


1 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

発 言 通 告 書 下記の通りの発言を希望するため、ここに通告します。 令和8年 6月 2日 土佐町議会議長 和田 義嗣 様 (議席番号) 4番 (氏名) 前田 清美 印		令和 年 月 日 午前 時 分 受付 午後 時 分 受付 (受付印) 発言順位№ 5
		
番	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1	質問事項 保小中高連携の理念を持つ学校運営の現状と展望は ①保小中高連携とは、教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深めるという趣旨もありますが、教員や生徒が行事などを通して学校間や地域に参加できる環境作りが大事だと思っています。連携校に対する現教育長の考えをお聞かせください ②また、制服が新しくなるタイミングで小中高を意識した制服と体操服の採用は可能か？現在どのような検討がされているのかお聞かせください	教育長
2	質問事項 今年度の夏季プール開放の状況は 水泳指導における安全管理指針には、以前に比べ、より安全管理の徹底を図るものになっていますが、夏休みの学校水泳授業外のプール運営の状況は ①毎年の課題である「監視人」の確保や報酬に対する話し合いは ②救命講習の日程は十分確保できているか ③小学高学年以上を対象とした町内プール利用の自由度を高めるため、交通面の支援の検討を ④開放日をLINE上やHPで確認できるように	教育長
3	質問事項 人口が少ない地域への情報共有の現状は 2月に行われた町内一斉避難訓練にて、日常的に告知端末の利用ができていない家庭が多いことがわかりました。特に住民が数人という小規模集落では告知端末が壊れていても問い合わせることなくそのまま利用されている方もおられ、聞こえる時と聞こえない時があるとの話もありました。 ①集落支援員や民生委員、地区長等の皆さんにご協力いただき、災害時の情報取得手段をインフラ整備の1つとして各家庭に確認をしていただきたい ②また、告知端末のみに頼らない情報共有・敏速かつ的確に状況把握するための体制は	町長
4	質問事項 通所リハビリ機能をどう地域へ再配置するか検討は 今後の人口減少社会において、地域に必要なリハビリ機能をどのように維持していくのか、その仕組みづくりの再構築が必要だと考えています。各利用者のニーズに近づいた取り組みの構築はできているのか、現状と課題をお聞かせください 通所リハに通われていた方は「医療でもない」「普通のデイでは足りない」層がおられると思います。支援がなければ外出が困難になりつつある方々を今後どう支援していくか。人材不足を鑑みた「リハ機能をどう地域へ再配置するか」の検討が必要となるかと思えます。例えば普通のデイサービスでも、機能訓練指導員、PT監修、個別運動を取り入れるなど、「通所リハの代替」ではなく、「デイサービス高度化」が必要であり、基本のデイサービスの存続が必須なのはもちろん、その機能の充実を図るための支援策を検討する必要があるのではないのでしょうか	町長

*スクリーンの使用 : 無

◎この通告書は、定例会開会第1日目の散会時刻までに提出してください。

<p>発 言 通 告 書</p> <p>下記の通り、発言したいから通告します。</p> <p>令和8年6月2日</p> <p><u>土佐町議会議長 和田 義嗣 様</u></p> <p>(議席番号) 2 番 (氏名) 澤田 智則 </p>		<p>令和 年 月 日</p> <p>午前 時 分 受付</p> <p>午後 時 分 受付</p> <p>(受付) 受付</p> <p>第 号</p> <p>8.6.-2</p> <p>土佐郡 土佐町 議</p> <p>発言順位No. 6</p>
番号	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1	<p>質問事項 農地集積の推進と耕作放棄地対策について</p> <p>高齢化と人口減少の進行に伴い、農業従事者の高齢化や離農が急速に進んでいます。その結果、耕作放棄地が年々増加しており、農地の荒廃だけでなく、有害鳥獣の生息環境の拡大や景観の悪化、水路や農道の維持管理の困難化など、集落の生活環境そのものにも大きな影響を及ぼしています。</p> <p>中山間地域において農地を維持し、地域農業を持続していくためには、農地集積・集約化の推進が重要です。しかしながら、本町のような山間地域では、担い手不足に加え、傾斜地や小区画農地、農道や作業道の未整備など、生産条件の不利な圃場が多く存在している。そのため、平坦地における大規模化のような手法だけでは課題解決につながらず、地域の実情に応じた取組が求められています。</p> <p>また、農地を集積した後も、その農地を維持管理し続けるためには、農業政策だけでなく、集落維持や高齢者支援、地域交通の確保など、地域づくり全体と一体となった施策展開が必要であると考えます。</p> <p>そこで、次の点について町長の所見をお伺いします。</p> <p>① 本町における耕作放棄地の現状と今後の見通しについて</p> <p>② 地域計画等を活用した農地の担い手の見える化と農地集積の推進について</p> <p>③ 条件不利地における基盤整備や農地情報の整理など、農地集積を進めるための取組について</p> <p>④ 集落営農組織や農業法人、新規就農者等の担い手確保・育成策について</p> <p>⑤ 農地保全と集落維持、高齢者支援、地域交通対策を一体的に進める考えについて</p> <p>⑥ 人口減少社会を見据えた農地保全と集落維持の中長期的なビジョンについて</p> <p>プロジェクター及びスクリーンの使用についてどちらか一方に○を入れてください (無)</p>	町 長
2	<p>質問事項 インフレ進行下における持続可能な財政運営について</p> <p>近年、全国的な物価上昇が続いており、地方自治体の財政運営にも大きな影響を及ぼしています。特に中山間地域の小規模自治体においては、人口減少や少子高齢化による税収基盤の縮小と、燃料費・光熱費・委託料・建設資材価格等の高騰による歳出増加が同時に進行しています。</p> <p>一般的にインフレ下では、行政サービスの維持に必要な経費が先行して増加する一方、地方税収や地方交付税などの歳入は直ちに増加しないため、財政運営の硬直化を招きやすいといわれています。また、小規模自治体では施設やインフラが広範囲に点在していることから、維持管理費や更新費用の上昇が財政を圧迫する要因となっています。</p> <p>このような状況の中、将来にわたり持続可能な行政サービスを維持していくためには、事業の優先順位付け、施設の集約・複合化、広域連携の推進、調達方法の見直し、行政事務の簡素化など、戦略的な財政運営が求められています。</p> <p>そこで、次の点について町長の所見をお伺いします。</p> <p>① 物価上昇が本町の財政運営に与えている影響をどのように分析しているか。また、委託料、燃料費、光熱費等の増加についてどのように認識しているか。</p> <p>② 経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率などの財政指標の現状をどのように評価しているか。また、今後の見通しをどのように考えているか。</p> <p>③ 公共施設やインフラの維持更新費の増加が見込まれる中、施設の集約化、複合化、用途転換を含めた公共施設マネジメントをどのように進める考えか。</p> <p>④ 防災、システム運用、施設管理などの分野において、近隣自治体との広域連携や共同運営によるコスト削減の可能性をどのように検討しているか。</p> <p>⑤ 限られた財源の中で行政サービスを持続的に提供するため、事業の優先順位付けや「選択と集中」をどのような基準で進める考えか。</p> <p>⑥ 行政事務の効率化を図るため、業務プロセスの見直しや事務の簡素化、デジタル技術の活用にどのように取り組む考えか。</p> <p>⑦ 人口減少とインフレが同時に進行する時代において、本町が持続可能な財政運営と行政サービスの維持を実現するための基本方針をどのように考えているか。</p> <p>プロジェクター及びスクリーンの使用についてどちらか一方に○を入れてください (無)</p>	町 長

1 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。